

「滋賀らしい環境こだわり住宅」 ～こだわりポイント事例～



滋 賀 県

『滋賀らしい環境こだわり住宅』

～こだわりポイント事例～

目 次

「滋賀らしい環境こだわり住宅」について _____ 1

「滋賀らしい環境こだわり住宅」とは？ 1

「滋賀らしい環境こだわり住宅」～こだわりポイント事例～とは？ 1

事例プラン集 _____ 3

伝統的な田の字型の間取りを活かした二世帯住宅 3

地域の景観との調和や創出、室内環境に配慮した住宅 5

安全性が高く、維持管理の容易な住宅 7

太陽光発電パネルや雨水貯留タンクを設置した住宅 9

街なかの小さな敷地で木材の素材感を存分に活かした住宅 11

間口の狭い狭小敷地で風通しや採光を充分確保した住宅 13

「滋賀らしい環境こだわり住宅」について

「滋賀らしい環境こだわり住宅」とは？

近年では、地球温暖化、資源の濫用、廃棄物の累積などといった地球規模の環境問題に関心が高まるなか、住宅分野においては環境に負荷をかけず、人や環境にやさしい良質な住宅をつくることが求められています。

滋賀県では、平成12年度より人や環境にやさしい住宅を推進してきたところですが、地産地消¹や循環型社会²形成の観点に加え、森林の多面的機能³を確保していくうえからも、地域材を活用し、人や環境に配慮した良質な木造住宅の振興が求められています。また、木造軸組住宅⁴は日本の気候風土に培われてきたとともに、リフォームもやすく長く住み続けられることに適した住宅です。

このため、**県産材や地場産自然素材などを活用した良質な木造軸組住宅を「滋賀らしい環境こだわり住宅」と位置づけ、これから進むべき住宅づくりの選択肢の一つとして、その整備を推進します。**

用語解説

- | | |
|------------|--|
| 1 地産地消 | : 地元生産・地元消費の略。地元生産されたものを地元で消費すること。 |
| 2 循環型社会 | : 廃棄物等の発生を抑制し、廃棄物等のうち有用なものを循環資源として利用し、適正な廃棄物の処理をすることで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。 |
| 3 森林の多面的機能 | : 水源のかん養、県土の保全、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、木材等の林産物の供給等の森林の有する多面にわたる機能。 |
| 4 木造軸組住宅 | : 木の柱と梁を軸に組み合わせて、家の骨組みをつくっていく住宅。日本家屋の伝統的工法として、古くから採用されています。 |

「滋賀らしい環境こだわり住宅」～こだわりポイント事例～とは？

滋賀県では、「滋賀らしい環境こだわり住宅」の整備を推進するため、「滋賀らしい環境こだわり住宅整備指針」を策定しました。

「滋賀らしい環境こだわり住宅整備指針」は、「滋賀らしい環境こだわり住宅」をつくる際に配慮すべき事項をとりまとめ整理したものです。

本書は、「滋賀らしい環境こだわり住宅整備指針」を踏まえて設計した住宅プランを使いながら、「滋賀らしい環境こだわり住宅」の整備ポイントを、わかりやすく具体的に示したものです。

設計する住宅のコンセプトを考える際や、具体的な仕様を決定する際の参考としてください。



伝統的な田の字型の間取りを活かした二世帯住宅

大家族で仲良く暮らし、友人・親戚を迎える機会が多い場合には、伝統的な間取りを採用するなど可変性を確保して、住宅を長く使い続けられる工夫にこだわります。

地域の景観との調和や創出、室内環境に配慮した住宅

伝統的な技法や地域の材料をふんだんに使い、地産地消や地域独自の風景を創り出すことにこだわります。



安全性が高く、維持管理の容易な住宅

住宅の構造安全性を確保するとともに、維持管理にも配慮するなど、長く住み続けることにこだわります。

太陽光発電パネルや雨水貯留タンクを設置した住宅

自然エネルギーの活用や省エネルギー対策、雨水利用など自然との共生にこだわります。



街なかの小さな敷地で木材の素材感を十分に活かした住宅

街なかの小さな敷地でも、地域の景観に配慮しながら家族のくつろぎの空間を提供するなど、住まい手のライフスタイルの実現にもこだわります。

間口の狭い狭小敷地で風通しや採光を充分確保した住宅

敷地が小さく整形でなくても、採光や風通しを充分確保し、自然素材を多用するなど、住む人の健康にもこだわります。



伝統的な田の字型の間取りを活かした二世帯住宅



滋賀県で伝統的な住まいの形式である田の字型を採用した二世帯住宅モデルです。

瓦屋根、板張りの純和風で周囲の景観に調和させており、内装は木材や珪藻土などの自然素材を多用しています。

親世代の生活の中心になる1階は、バリアフリーを充実し、親世代寝室の近くに介護も可能な広いトイレを配置するなど、安心して暮らせる工夫を行っています。また、田の字型の部屋割りを採用していますので、用途に応じて部屋の大きさが変えられます。

世帯のプライバシーにも配慮して、子世代の団らんスペースを2階に設けています。子供部屋などとともに、床勝ち・天井勝ちの間仕切り壁や、家具をつかった間仕切りを採用することにより、子供の成長や暮らし方の変化に併せて部屋のレイアウトを自由に変えることができます。

DATA

= 入居世帯 =

人数 : 6人
家族構成 : 祖父母、夫婦、
子供2人

= 建物概要 =

階数 : 2階建て
面積 :
敷地面積 / 230.4 m² (69.8 坪)
1階床面積 / 127.1 m² (38.5 坪)
2階床面積 / 66.2 m² (20.1 坪)
延べ床面積 / 193.3 m² (58.6 坪)

= 環境こだわりポイント！ =

高齢者に優しい仕様や可変性の高い仕様は、住まい手の暮らし方が変わってもいつまでも住み続けられるので、建物の長寿命化につながります。

1階平面図・配置図



2階平面図



改造プラン(例)



田の字型のメリット

田の字型とは、農家の伝統的な間取りです。
田の字型に部屋を配置し、間仕切りを襖にするよって、普段は少人数で使う部屋も、襖を外せば大人数のお客を迎える大きな部屋ができるなど、可変性の高い住まいになります。

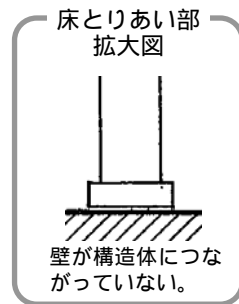


イメージ写真

子供の成長等にあわせた改造

子供が小さいときは、できるだけ家族一緒の時間がもてるように、大きくなったら独立した部屋を用意するのも簡単です。

間仕切り壁を床勝ち・天井勝ちにしておけば、改造も容易になります



木材をふんだんに使ったあたたかみのある1階 食堂・居間



イメージ写真

本棚で部屋割りが変えられる2階のファミリースペース。使い方も楽しめます



イメージ写真

地域の景観との調和や創出、室内環境に配慮した住宅



伝統的な住宅建築技法である越し屋根を導入することによって、地域景観との調和や創出にこだわった住宅モデルです。階段空間を吹き抜けにすることで、開放感のある快適な空間と風の通り道の確保にも工夫をしています。

地域産材の八幡瓦を葺き、外装には土壁、漆喰左官仕上げといった昔ながらの自然素材の使用・工法を採用しています。土壁、漆喰の左官仕上げは、断熱機能や調湿機能に優れており、夏涼しく冬暖かいといった快適な環境にすることができます。

内装には、木材をはじめ、珪藻土や和紙などの自然素材を多用しています。内装にこれらの自然素材を活用することで、シックハウスの原因となる有害物質の放出を防ぐだけでなく、調湿作用などがあるので、快適な室内環境が形成されます。

DATA

= 入居世帯 =

人数 : 5人

家族構成 : 祖母、夫婦、子供2人

= 建物概要 =

階数 : 2階建て

面積 :

敷地面積 / 207.1 m² (63.2 坪)

1階床面積 / 102.0 m² (30.9 坪)

2階床面積 / 56.0 m² (17.0 坪)

延べ床面積 / 158.0 m² (47.9 坪)

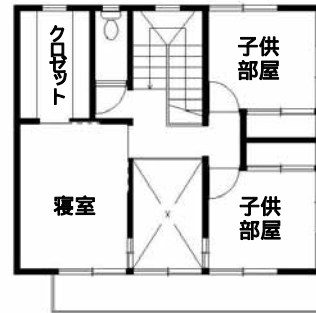
= 環境こだわりポイント！ =

伝統的な越し屋根や吹き抜けによる自然換気、外装や内装に自然素材を活用した断熱性・調湿性の確保などの工夫で、冷暖房のエネルギー使用量をできるだけ抑えながら、快適な室内環境を創出することができます。

1階平面図・配置図



2階平面図



吹抜けにした居間。各部屋は吹き抜けとつながり、自然の風が通ります



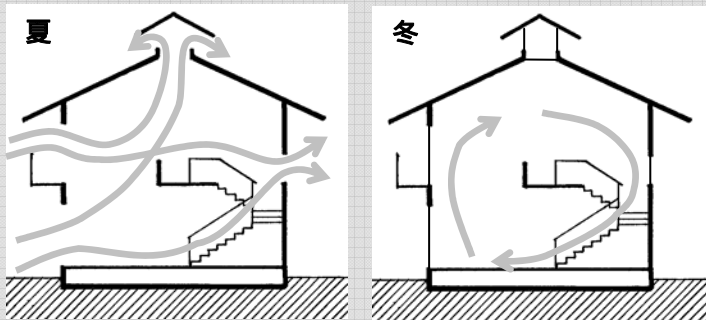
イメージ写真

風の通り道

～ 2 箇所以上の開口部や越し屋根、吹抜けの効果～

2 箇所以上の開口部や越し屋根に併せて、吹抜けを確保すると、住宅内の空気が自然に循環し、自然換気が促進されます。

また、夏は越し屋根の開口部を開くことにより、住宅内の暑い空気が窓や越し屋根の開口部を通して住宅外に排出され、冬は越し屋根の開口部を閉じることで、居間の床暖房で暖められた空気が住宅内を循環するといったように、快適な温熱環境を保ちます。



イメージ写真



健康にもこだわり、木材や珪藻土、畳、和紙などの自然素材を多く採用しています

あたたかみや健康に配慮した無垢材を使った収納



イメージ写真

安全性が高く、維持管理の容易な住宅



洋風の建物が建ってもなじむ住宅団地など新しい市街地で、長期耐用性にこだわる家族向けの住宅モデルです。

地震、積雪、火災等に対する構造安全性を確保するとともに、深い軒や庇にすることで、雨水をできるだけ建物にあてない、あるいはあたった雨水をできるだけ速やかに流したりする工夫や土台・外壁軸組の防腐・防蟻処理を施すなどの住宅の劣化軽減対策をしています。

設備配管は主要な構造部の耐用年数より短いので、交換、補修、清掃等が構造躯体に影響を及ぼすことなく容易に行えるように、構造躯体から分離しています。また、一般流通された基準寸法を採用し、部品・部材の取替えや改築のしやすさにも配慮しています。

DATA

= 入居世帯 =

人数 : 5人

家族構成 : 夫婦、子供3人

= 建物概要 =

階数 : 2階建て

面積 :

敷地面積 / 168.8 m² (51.2 坪)

1階床面積 / 67.6 m² (20.5 坪)

2階床面積 / 62.4 m² (18.9 坪)

延べ床面積 / 130.0 m² (39.4 坪)

= 環境こだわりポイント! =

地震、積雪、火災等に対する構造安全性の確保と適切な住宅劣化軽減対策は住宅の安全性の確保に必要です。また、設備配管は構造部から分離するなど、交換、補修などの維持管理をやすくすることも、住宅を長く使い続けるための条件のひとつです。

1階平面図・配置図



道路

2階平面図



イメージ写真

こころが落ち着く和室。木の香りも楽しめます

住宅を長持ちさせるには？

住宅を長持ちさせるためには、住宅そのものの構造安全性を確保することに加え、住宅の劣化を軽減するような工夫、住宅そのものよりも耐用年数の少ない設備配管などを取替え安くすること、家族構成や生活様式の変化にあわせて改造しやすい構造（可変性の確保）とすることが求められます。

構造安全性を確保する

- ・柱や梁の断面を大きくする。
- ・壁は量・バランスに気をつけて配置する。
- ・接合部は金物等によりしっかりつなぐ。
- ・基礎は鉄筋コンクリート造とする。

住宅の劣化軽減対策を施す

- ・床下や小屋裏に換気口を設ける。
- ・庇を深くする。
- ・床下に防湿措置を施す。

設備配管などを取り替えやすくする

- ・設備配管と構造躯体を分離する。
- ・点検口・清掃口を設ける。

火災への対応

- ・感知警報装置を設置する。



対面式キッチンで家族の会話も進むあたたかみのある居間・食堂



イメージ写真

適切な太さの柱、梁と壁の量を確保した安全性のある軸組み



イメージ写真

太陽光発電パネルや雨水貯留タンクを設置した住宅



住宅団地など新しい市街地で、省エネルギーにこだわり、洋風を望まれる若い家族を想定した住宅モデルです。外観は洋風でも、内部には木をふんだんに利用しています。

2階屋根に太陽光発電パネルを備え、太陽の光を太陽電池で受け、自宅で電力として活用することができます。最近では庭先に設置できる風力発電機器も家庭用が開発されてきましたので、併用していくことも可能です。

また家庭で最も大量に使われるお風呂の排水や雨水を貯留して再利用する、節水に寄与する設備を整えます。

外壁の断熱化や、開口部の二重窓など、断熱化・気密化にも配慮した仕様で、エネルギーの有効利用にこだわっています。

DATA

= 入居世帯 =

人数 : 4人
家族構成 : 夫婦、子供2人

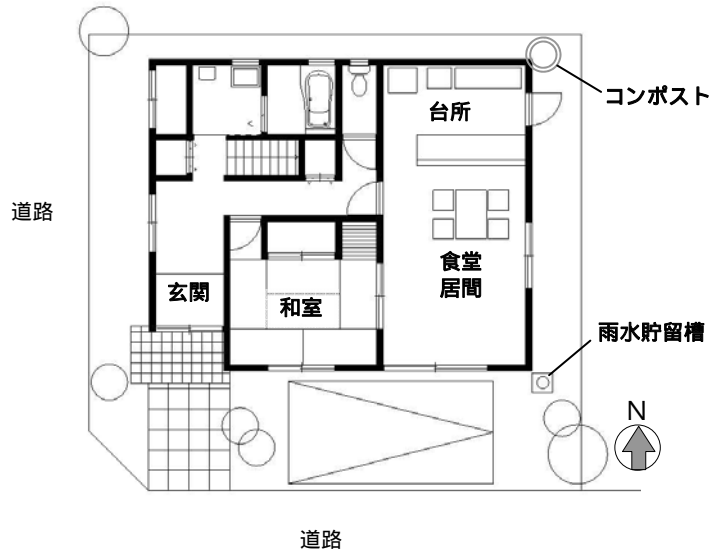
= 建物概要 =

階数 : 2階建て
面積 :
敷地面積 / 132.8 m² (40.2 坪)
1階床面積 / 66.1 m² (20.0 坪)
2階床面積 / 54.2 m² (16.4 坪)
延べ床面積 / 120.3 m² (36.4 坪)

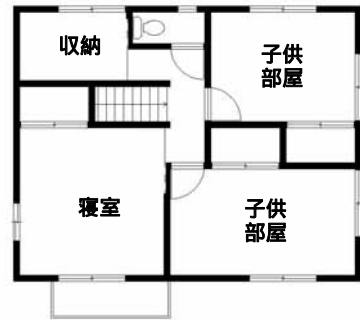
= 環境こだわりポイント！ =

太陽光発電パネルなどの新エネルギー設備や、雨水貯留タンクなどの雨水の再利用設備の採用は、省エネルギー化につながります。

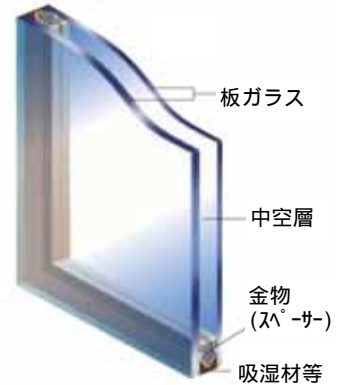
1階平面図・配置図



2階平面図



太陽の光と熱を室内に採り入れ、室内の熱は外に逃がしにくいペアガラス



エネルギーをつくりだす機器

現在、地球環境保全に向け、様々な取り組みが進められていますが、住宅設備分野においても、太陽光発電、太陽熱利用、雨水利用などの自然エネルギーを利用する機器が開発され、普及しつつあります。

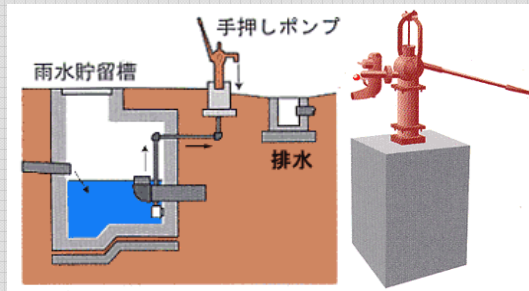
また、風呂の残り湯の再利用や、節水こまの設置、生ゴミ処理機などの環境にやさしい機器もあります。

太陽光パネル



新エネルギー財団パンフレットより

雨水貯留槽



壁を自然の素材で作られたクロスなどを用いて落ち着いた雰囲気にした2階寝室



イメージ写真

食堂・居間と一体的に使っても違和感のない1階和室。やわらかい木の香りが漂います



イメージ写真

街なかの小さな敷地で木材の素材感を十分に活かした住宅



周辺は住宅が建つ街なかで敷地は大きくないけれども、室内でくつろぎ、落ち着いた生活がしたいなどプライバシーを重視される若い世代の家族向けの住宅モデルです。

木組みを見せるなどして、内装などに地域の無垢の木材を多用し、木の香る、健康にやさしく、見た目も温かい空間を形成しています。

主な生活空間を隣家から適切な距離を確保できる2階に配置して、家族で囲らんとできるようにしています。

また、近隣に建つ古くからの在来木造住宅と調和を図るため切妻屋根を採用し、まちなかに残る蔵のデザインイメージを取り入れた外観にするなど、周囲の景観に融和するデザインとしています。

DATA

= 入居世帯 =

人数 : 4人
家族構成 : 夫婦、子供2人

= 建物概要 =

階数 : 2階建て
面積 :
敷地面積 / 109.3 m² (33.1 坪)
1階床面積 / 53.0 m² (16.1 坪)
2階床面積 / 48.9 m² (14.8 坪)
延べ床面積 / 101.9 m² (30.9 坪)

= 環境こだわりポイント！ =

内装、家具なども地域の木材を多用することは、地産地消や循環型社会の形成につながり、地域の環境保全にもつながります。木組みを現わしにすると、木の良さを楽しめるほか、部屋がより広く感じられるなどの効果があります。

1階平面図・配置図



イメージ写真

自然の素材でつくられたクロスを併用したおしゃれなキッチン



イメージ写真

洗面所でも木の香り、雰囲気を楽しむことができます



イメージ写真

2階平面図



庭代わりになる屋外テラスは、外の景色も楽しめます



イメージ写真

木組みを現わしにした部屋は、より広く感じることができ、内装、建具にも木材を多用することで健康にやさしい、あたたかみのある快適な空間になります

地域の木材、自然素材の活用

木の家は、人にも環境にもやさしい家といえます。特に県産木材を使用することは、県内の森林の活性化、森林環境の保全にもつながります。また八幡瓦や葺を使った製品の使用など、地場産の自然素材を活用していくことも、循環型社会の形成や地域産業の活性化に貢献します。

<木の家は人にやさしい>

木はダニの増殖を防ぐ。

木はアトピー性皮膚炎や喘息の原因となるダニ類の増殖を防ぎます。

木は衝撃を和らげる。

木は程よい弾力性をもち、衝撃吸収力に優れています。このため、転倒時のけがの危険性も少なくなります。

木は天然のエアコン

木は室内の湿度が高いと吸湿、乾燥すると放湿することで、自然に一定湿度を保ち、快適な環境を作りだします。

木は目にやさしい。

木は目に有害な紫外線を吸収し、赤外線を反射するため、目を刺激せず優しく柔らかな環境を作りだします。

木は熱を伝えにくく、温かさを保つ。

木はコンクリートや鉄に比べて、熱を伝えにくい性質をもっています。このため、木の家は基本的に夏涼しく、冬暖かいといった特徴があります。

間口の狭い狭小敷地で風通しや採光を充分確保した住宅



中心市街地や街道筋など、間口が狭く奥行きが長い敷地でも、中庭やハイサイドライトを設置することにより、採光が行き届き、風通しの良い快適な環境を確保した住宅モデルです。

若い世帯のライフスタイルにあわせてモダンな外観ですが、内装は木材を多用して木のぬくもりにあふれたくつろぎの室内環境にしています。

夫婦と小さな子供が1人の家族で、親子で一緒に寝る時期にあわせた計画にしていますが、子供の増加、成長にあわせて、2階の寝室は2部屋に分割して子供部屋に、1階を夫婦の寝室として活用するための改造も難しくはありません。

DATA

= 入居世帯 =

人数 : 3人
家族構成 : 夫婦、子供1人

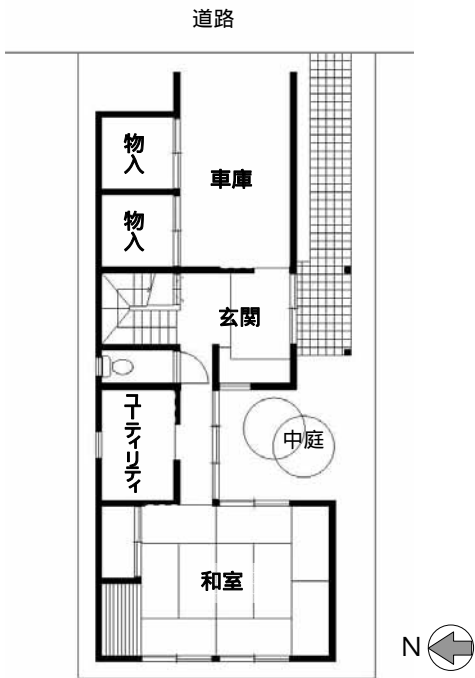
= 建物概要 =

階数 : 2階建て
面積 :
敷地面積 / 101.8 m² (30.8 坪)
1階床面積 / 58.8 m² (17.8 坪)
2階床面積 / 56.3 m² (17.1 坪)
延べ床面積 / 115.1 m² (34.9 坪)

= 環境こだわりポイント！ =

居室の通気・換気性を確保するとともに、木材等の自然素材や有害物質をできるだけ含まない内装材を使用することは、居住者の健康につながります。

1階平面図・配置図



2階平面図



あたたかみのある無垢材を使った台所



改造プラン

子供が増え、成長した時は、寝室を、子供部屋2室に分割。1階を主寝室にすることもできます。

2方向に窓（開口部）があり、風通しの良い1階和室



イメージ写真

和風の建具と調和する木の香る玄関



イメージ写真

コンパクトながら自然素材を多用した快適なトイレ



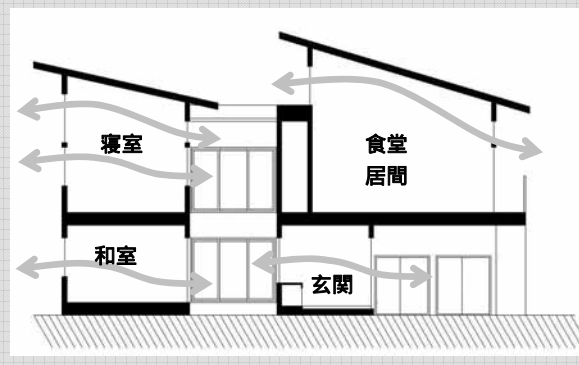
イメージ写真

健康への配慮

人の健康に配慮するため、居室に2箇所以上の開口部を設けるなど、居室の通気・換気性を確保することが大切です。

このプランでは、中庭を設けることで風の道が確保され、すべての居室が風通しの良い住宅にしています。

通風の確保は、近年問題となっているシックハウスの予防にも役立ち、内装材に木材等の自然素材や有害物質をできるだけ含まないものを積極的に使うことは、健康にも良いといわれています。



問い合わせ先

滋賀県土木交通部住宅課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL 077 - 528 - 4235 / FAX077 - 528 - 4911